11 月の株式市場急落と当社ファンドの運用方針について

平素より弊社のファンドへご投資いただき誠にありがとうございます。

11 月に入り、国内外の株式市場が急落し、当社ファンドの基準価額も下落しており、お客様におかれましてはご心配な方もいらっしゃると思います。
今回の市場急落の背景と、当社の見方、今後の運用方針について当社の考えをお伝えさせていただきたいと思います。

１．株式市場急落の背景

今月に入って特に日経平均が月初から 6 日時点で 9.25%下落し、当社のパリミキ・ファミリーオフィス・ファンドファンドは、本日時点で 3.71%下落しております。
発端は、11 月 3 日に実施された米中間選挙で民主党が上下両院を制し、これまでマーケットを牽引してきた AI データセンターの新設が抑制されるという懸念が高まり AI 関連銘柄の売りにつながったと考えます。その根底にあるのが有権者のデータセンター建設に伴う、電力不足、水不足、騒音、自然破壊、更には格差拡大などに対する地域住民の不満があります。

２．更なる下げを増幅した投資家のポジション調整

これをきっかけとして下げを増幅したのがヘッジファンドのポジションの解消が挙げられます。産業革命に匹敵する（あるいはそれ以上の）投資先が顕在化したことで、ヘッジファンド（買いと売りポジションを同時に持ちながら収益をあげるファンド）などのプロが既に高いレバレッジを掛けて AI 銘柄のポジション保有していました。その過程で、一部のヘッジファンドなどは借入等を活用して投資規模を拡大しており、株価の急落を受けて、保有ポジションを縮小する動きが強まりました。
こうしたヘッジファンドの動きは「デグロッシング（de-grossing）」と呼ばれ、買い持ちと売り持ちの総ポジション全体を減らすものです。特に多くの投資家が保有する銘柄では売却が集中し易く、短期間で株価が大きく下落する要因となります。
今回もこうした需給面での調整が株価下落を増幅したものと考えています。

３． 当社の見方

上記の通り、実体経済は崩れておらず、また AI への需要は引き続き非常に強いままであることから、今回の下落は、景気後退を織り込む売りではなく、加熱したポジションの調整が大きいと考えます。

４． 今後の運用方針

当社では、今回のような市場の調整をある程度あらかじめ想定し、直近ではキャッシュ比率も 15%前後に高めるなど、慎重な運用姿勢を維持してきました。

今回のように未だファンダメンタル（実体経済）が悪化していないにも関わらず大きく下落した局面は中長期の買い場と判断し、ここからは分散してポジションを構築していく予定です。

私自身も当社ファンドに投資する一人として、引き続きお客様からお預かりした大切な資産の運用に真摯に取り組み、リスクの抑制と中長期的なリターンの獲得を目指してまいります。

今後共変わらぬご信頼を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2026 年 11 月 9 日

株式会社パリミキアセットマネジメント

チーフインベストメントオフィサー

宇野隆一郎

◆ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、親投資信託（値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資する）に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。

投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者（投資者）の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

◆ファンドにかかわる費用

当社が扱う投資信託に、購入・換金手数料および信託財産留保金はありません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧下さい。目論見書のご請求は、販売会社までご連絡ください。

◆当資料のご利用にあたっての注意事項

当資料は株式会社パリミキアセットマネジメントが運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）等をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

■当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

■当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

■当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。

■投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

■当社でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。

株式会社パリミキアセットマネジメント
金融商品取引業者
関東財務局長（金商）第 2727 号
一般社団法人 資産運用業協会会員
〒104-0061 東京都中央区銀座二丁目 8 番 4 号泰明ビル 2 階

PARIS MIKI
ASSET MANAGEMENT